＊SD-078-013＊

2017年 5月改訂（第6版）（新記載要領に基づく改訂）
＊2014年 10月改訂（第5版）

承認番号 20600BZY00578000

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管

高度管理医療機器 末梢静脈挿入式中心静脈用カテーテルイントロデューサキット 16615120

グローションカテーテル（インジェクションキャップ）

再使用禁止

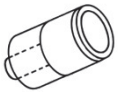
【禁忌・禁止】

1.使用方法
- 再使用禁止
- 再滅菌禁止

2.適用対象（患者）
本品に含まれる物質に対するアレルギー反応を示すか、その疑いがある患者。

【形状・構造及び原理等】

1.形状



【使用目的又は効果】

本品は中心静脈注射を目的に中心静脈内に留置して使用するカテーテルとそれを留置するための構成品を含めたセットである。

【使用方法等】

1.使用方法等

(1)インジェクションキャップへの穿刺

1)用意する物品
- アルコール綿球（綿棒）
- 容量10 mL以上のシリンジ
- 20 ～ 22 G注射針1本

2)手順
a) インジェクションキャップ周囲のサージカルテープ等を取り外す。
b) アルコール綿球（綿棒）を用いて、インジェクションキャップを消毒する。
c) 注射針を容量10 mL以上のシリンジに装着し、薬剤を充填する。
d) インジェクションキャップの中心部に注意深く穿刺する。
e) 薬剤を注入する。注入後、抜針する。
f) (2)インジェクションキャップの交換 の項に従い、インジェクションキャップにサージカルテープを貼付する。

(2)インジェクションキャップの交換

1)用意する物品
- 滅菌済インジェクションキャップ
- アルコール綿球（綿棒）
- サージカルテープ

2)手順
a) 新しいインジェクションキャップの内腔に生理食塩液を満たす。
b) インジェクションキャップの周りの古いサージカルテープ等を取り外す。
c) アルコール綿球（綿棒）を使用して、インジェクションキャップとカテーテルの接続部を消毒した後、自然乾燥させる。
d) 古いインジェクションキャップを取り外す。
e) 新しいインジェクションキャップの上部を摘み、カテーテルハブに取り付ける。
f) サージカルテープの接着部分を、カテーテルとキャップの接続部周囲を巻くようにして貼り、固定する。サージカルテープ断端の約1 cmを折り返し重ねてタブ（摘むところ）を作成しておくことで、取り外しが容易となる。

(3)インジェクションキャップの交換時期
以下を目安に新しいものと交換すること。
- 20回以上穿刺した場合
- インジェクションキャップを通じて採血を行った場合
- インジェクションキャップを取り外した場合
- 上記以外の場合、1週間毎

2.使用方法等に関連する使用上の注意

(1)テープを取り外す際、ハサミ等の鋭利な器具でテープを切断しないこと。[カテーテルを切断あるいは損傷するおそれがある。]

(2)古いインジェクションキャップを取り外す際は、カテーテルコネクタ部を患者の心臓の高さより下に保持すること。[カテーテルコネクタ部を心臓の高さ以上に保持した状態で開放すると、カテーテル内部の液体水位が降下し、空気塞栓を引き起こすおそれがある。]

【使用上の注意】

＊1.不具合・有害事象

(1)不具合
- 本品の破損

(2)有害事象
- 空気塞栓症
- アレルギー反応
- 出血
- 感染

【保管方法及び有効期間等】

1.保管方法
高温多湿および直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で保管すること。

2.有効期間
使用期限は直接の包装及び外箱に記載。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 ：株式会社メディコン
外国製造業者 ：C. R. バード社
C. R. Bard, Inc.
国名 ：アメリカ合衆国

連絡先 ：06-6203-6546

株式会社 メディコン

Bard、バード、Groshong、グローションは、C. R. バード社の登録商標です。
本書の著作権はC. R. バード社が保有しています。